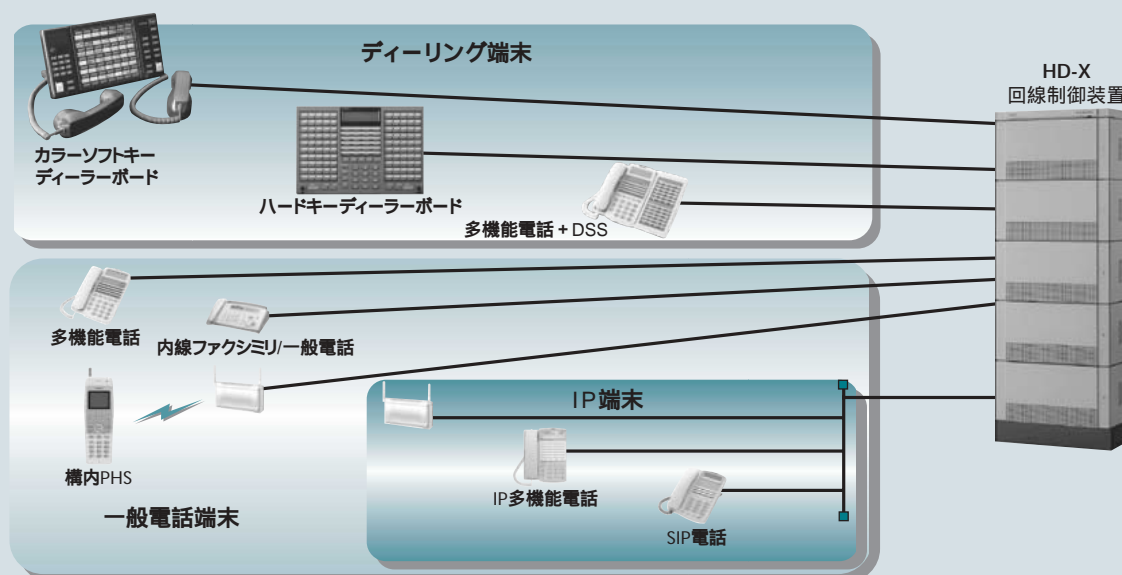


ディーリング通話システム「HD-X」



注：略語説明 DSS(Direct Station Selection) , PHS(Personal Handyphone System) , IP(Internet Protocol) , SIP(Session Initiation Protocol)
HD-Xの構成例

金融機関の為替・株式取引業務向けディーリング通話システム「HD-X」を2006年11月に発売した。HD-Xは従来の機種に比べると、コンパクトで使いやすく、日本のコミュニケーション環境に適する機能を兼ね備えている。

ディーリング通話システムは1983年に最初のシステムを発売して以来、1990年にフルデジタルシステム「HD-6VL」を製品化し、1995年にはLAN(Local Area Network)に対応したカラーディスプレイディーラーボードを追加するなど、常に先端を走るシステムを金融機関の為替・株取引業務向けに提供しており、稼働実績は100ユーザー以上を数える。

HD-Xは豊富な実績に基づいた信頼性に加え、用途・規模・スペースなど、日本のコミュニケーション環境に適したシステム構築を実現することにより、ディーリング業務に携わるディーラーを強力にバックアップしている。

通話台は40色カラーディスプレイの見やすさとボタンの使いやすさを兼ね備えた、カラーソフトキーディーラーボードをラインアップに加えている。

製品の特徴

(1) コンパクトデザイン

机上で邪魔にならないコンパクトサイズとし、ディーラーフォンの後ろに設置したPC画面が陰にならない高さを実現した。角度を30°に調整した場合の外形寸法は、幅約340×奥行き61×高さ125(mm)である。

(2) シンプルで使いやすい

電話を掛ける、電話を受ける、ボリュームを調整するなど、基本操作を中心に配列し、シンプルで使いやすいディーラーフォンとした。

(3) 漢字表示・漢字変換入力

瞬時の判断が必要なディーリング業務において、名称表示を見やすくすることはきわめて重要であることから、漢字表示を大きく見やすいものとした。また、ワンタッチオートダイヤルの漢字変換入力が可能で、相手名称の登録・変更が簡単に行え、日本人が操作するディーラーフォンを意識した作りとしている。

(4) ディーリング業務向け機能の充実

通話台ごとにモニタスピーカーを設置し、任意に設定した回線をモニタすることができる(オープンボイス)。また、株価、為替などのマーケット情報を支店に対し、一斉連絡することができる(支店指令)。

【お問い合わせ】

株式会社日立コミュニケーションテクノロジー
経営企画本部 事業企画部

担当：酒井

〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3 大森ベルポートD館

TEL：03-6404-0535